

## KOO スポーツサングラスの使用上の注意

### ■ 偏光レンズ

2枚のレンズ間に「偏光フィルム」と呼ばれるフィルムを挟み込んでいます。

偏光フィルムがレンズの内部で反射光を吸収し、視界をちらつかせる邪魔な光がカットされ、見るもののコントラストをはっきりさせることができます。

ただし、偏光レンズの効果は永久的ではありません。

偏光フィルムは、紫外線を浴びると効果が弱まるため、通常3~4年ほどで寿命となります。

また、レンズの間にフィルムを挟み込んでいるという構造上、フィルター層に空気や水分が入り込んで劣化してしまうこともあります。

偏光サングラスを掛けて偏光板を使用した液晶表示画面(携帯電話、パソコン、テレビ)等、を見ると見る角度によっては画面が歪んで見える場合がありますのでご注意ください。

### ■ 調光レンズ

調光レンズは、紫外線量により明るさが変わるレンズです。屋外などで強い紫外線の当たる場所では、レンズは暗くなり、室内などの紫外線の弱い場所では明るくなります。紫外線量の少ない場所では変化も少ないです。

また、温度にも影響され気温が高い場所では明るくなりやすく、気温の低い場所では暗くなる傾向にあります。屋外の強い紫外線が当たる場所から室内(トンネル)等、急激な明るさの変化には対応できませんのでご注意ください。

また、使用頻度にもよりますが、3~4年ほどで寿命となります。経年劣化により明るさの変化がしにくくなりますので、長期間ご使用いただくために保管の際は、紫外線の当たらない場所で保管していただくようお願いいたします。

### ■ ミラーレンズ

ミラーレンズは、レンズに当たる光を反射させるため、目を効果的に保護できます。

ベースレンズの色が薄いか濃いかによっても反射度は異なりますが、どのようなベースであっても、

ミラーコート加工をするとベースカラーよりは暗くなり、可視光線透過率は3~5%低下するといわれています。そのため、夏の強い日差しなどから目を保護するためにもミラーレンズサングラスは効果的なレンズです。

但し、ミラーレンズはレンズ表面をミラーコーティングしているため、傷がつくと修復が難しいです。

洗浄する場合も、レンズに傷がついている状態で実施するとより傷が深くなってしまふ恐れもあります。

普段のお手入れの際もレンズに傷がつかないように、乾拭きしないことも大切です。

乾拭きすると摩擦で傷がつく可能性があるため、レンズクリーナーを使って丁寧に拭いてください。

また、ミラー処理されているレンズ表面には、くもり止め液は塗らないでください。ミラーが剥がれる恐れがあります。

### ■ くもり止めレンズ

くもり止めレンズは、レンズ表面に特殊コーティングを施し、レンズ表面に付いた水分を吸収させることにより、水滴による乱反射を防ぎレンズの透明性を維持しますが、水分吸収量が飽和状態になるとくもり止め効果が低下し、水あかのような状態になります。

このような場合には常温で十分乾燥させれば、再び機能は回復いたします。

## お手入れ方法とご注意

### ■ 偏光レンズ

レンズの間に挟み込まれている偏光フィルムは、水の中や超音波洗浄の中に長時間放置すると偏光膜に水が浸入し劣化、剥離する場合がありますので、レンズ周辺に付いた水分はすぐに拭き取るようにしてください。また、すぐにケースに保管せず、直射日光や高温多湿を避け十分に乾燥させてください。

レンズに水、海水、汗、等が付いた状態で放置すると水あか、塩分が付着し汚れの原因になります。

### ■ ミラーレンズ

レンズの汚れはコーティングの剥離の原因になります。また、レンズに皮脂や化粧品などの汚れが付着したまま放置した場合、クラックの原因にもなります。

サングラス使用后、レンズが汚れた場合は、少量の中性洗剤を溶かした常温の水の中で洗い、水道水でレンズ面を指の腹でなでるように軽く洗いながし、水分を柔らかい布で十分に拭き取り、仕上げはマイクロファイバークロス等で拭き上げてください。レンズにゴミが付着しているまま乾拭きをすると、レンズを傷付ける要因になります。

### ■ 特殊コーティングレンズ

洗浄には有機溶剤(シンナー、アルコール、除光液)は使用しないでください。変形、変質、破損の原因になります。